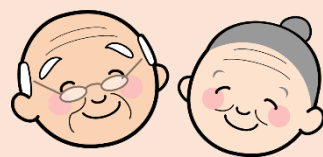


令和5年度第1回初級講習会



報告



令和5年度、第1回初級講習会を、6月7日(水)、8日(木)、9日(金)、6月10日(土)、14日(水)、15日(木)、16(金)の7日間で開催しました。各先生方から内容の濃いご講義をいただき、充実した講習会になりました。参加者は、講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身に付けようと熱心に受講されました。

講習会の様子



保育のこころ

松山市保育・幼稚園課

岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

子どもの年齢別の身体と心の発達について詳しくお話して頂きました。子どもの気持ちに共感し具体的なほめ方や十分に甘えさせることの大切さ、甘やかしの違い、また時代や取り巻く環境の変化で子育ても変化していることを教えて頂きました。乳幼児の寝るときの安心お部屋作りのコツや、保育園では0歳児では5分おき、1歳児は10分おきに安全をチェックしている等、お話して頂きました。

子どもの遊び

松山市保育・幼稚園課

岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

身近にある廃材で簡単に作れる「いない・いない・ばあ」のおもちゃの制作実習等を行いました。子どもの成長に合わせた遊びの紹介や絵本の読み聞かせ、絵描き歌もいくつか教えていただきました。子どもを事故から守るための注意点や感染症予防対策や汚物処理の方法や手袋の外し方を学びました。

子どもの心の発達とその問題 |

えひめ子育てサポートラボほっこりん

主宰 玉井 利江 先生

子どもの発達段階に合った効果的な関わり方やコミュニケーションの取り方をご講義いただきました。子どもは一人ひとり違う存在で、子どもの行動を見て、できている当たり前な行動に注目し認め、ほめることが励ましや勇気づけになることを教わりました。相手が困っているときは話を聴き、言葉を繰り返すロールプレイングを行い、とても参考になりました。

子どもの心の発達とその問題 II

児童発達支援センターあゆみ学園

児童発達支援管理責任者 今村 高博 先生

主な発達障がいの特性について学び、2次障がいについては、外見上気付かれにくいことも多く、理解不足から不適切な対応が生じてしまうようです。その結果、否定的な評価や叱責等を行って自尊心を低下させてしまい情緒不安定や反抗的な行動を引き起こしてしまい深刻な問題になる場合があるとのことでした。しっかりと子どもと関わりアセスメントや行動を観察し記録することで対策や原因が見えてくることがある事を教えて頂きました。伝え方の工夫や、わかりやすく具体的に伝え肯定的にほめることの大切さを学びました。

身体の発育と病気

石丸小児科

院長 中野 省三 先生

子どもの発熱や熱性けいれん、下痢をした時の対処法や注意点、インフルエンザやウイルスによる感染症、感染性胃腸炎などさまざまな病気の症状や治療法など分かりやすく教えて頂きました。子どものアレルギー疾患のアトピー性皮膚炎の注意点やアナフラキシーについての現場のドクターのお話は、大変参考になりました。子どもの体調は注意深く観察することが大切だと思いました。

子どもの世話

河原学園人間環境大学

松山看護学部看護学科 准教授 星田 ゆかり 先生

子どもの呼吸・体温調節・消化吸収・排泄・睡眠など身体のしくみと働きについてまた、世話をする上でのポイントを分かりやすくご講義いただきました。受講生の呼吸の回数や脈を互いに測定するなど実技もあり楽しく受講できました。子どもとのコミュニケーションの取り方や子どもを預かるうえでの注意点では、事前に親から子どもの様子や情報を確認しておくことが重要だということはとても参考になりました。

看護の基礎知識

日本赤十字社 愛媛県支部
事業推進課 福祉係長 鶴久森 陽子 先生

心疾患、脳卒中、認知症、熱中症、脱水などの症状と処置の仕方を教えて頂きました。高齢者の加齢に伴い増えてくる事故の予防方法や応急手当について、また子どもの事故防止は危険な物を届くところに置かないなど事故を予測して予防しておくことが大事だと思いました。子どものけいれんや発熱時の観察のポイントや手当の方法など、とても勉強になりました。

安全・事故・救命講習

日本赤十字社 愛媛県支部
事業推進課 主事 有馬 三貴 先生

心臓や呼吸が停止した傷病者を救命するために行う、一次救命処置の心肺蘇生の手順と異物除去方法についてご講義いただきました。実際に人形を使用しての胸骨圧迫では「強く・速く・絶え間なく」を意識し、気道を確保して人工呼吸を行う方法や、AED（自動体外式除細動器）の使用方法を何度も繰り返し実習を行いました。受講者の中には、以前に講習を受けましたが忘れており、再確認できて、継続して受講することの大切さを認識しましたとの声があがりました。

子どもの栄養と食生活

株式会社 ヘルシープラネット
管理栄養士 今川 弥生 先生

成長期の子どもの栄養と食生活について幅広く教えていただきました。離乳食時期に色々な食物を食べることや、楽しく食事をするための大切さを学びました。乳幼児の食生活の注意点など年齢別にわかりやすくご講義いただきました。日本人はカルシウムが不足しており、骨を強くするための食材を食べることや、元気で病気にならないために、我々も主食・主菜・副菜をバランスよく食べ（赤・白・黄・緑・黒）の色彩で食欲が出るような見た目や食べた物を意識しながら食事していきたいと思いました。

介護のこころ

今治明德短期大学 講師
介護福祉士 杉本 詠二 先生

高齢者や認知症の方への関わり方について、わかりやすくユーモアを交えながらお話して頂きました。自己覚知として自分の今の表情、姿勢、態度を意識し笑顔で接することや、正面から話しかけ、話すスピードやうなずきや、あいづちでコミュニケーションを取ることが大事である事を学びました。また、物忘れと認知症の違いやその症状、高齢者の視野、聞こえ方や嚥下障害について教えて頂きました。高齢者の様子や情報を把握することが大切だと思いました。

事業を円滑に進めるために（修了式）

まつやまファミリー・サポート・センター
アドバイザー

まつやまファミリー・サポート・センターのしくみや、提供会員として、援助活動における基本姿勢や援助の流れ・内容について、説明がありました。また活動報告書の作成方法や報酬額、事務的な手続き等についても説明がありました。その後、実際に援助活動を行っている提供会員さんからの体験もお話して頂き、受講者からは、『とても参考になった、できることから前向きに援助に参加していきたい。』との声があがりました。

最後の講習後に、井藤館長の挨拶があり、その後会員証を交付しました。



参加者

7日間 11講座 延べ 148人



提供会員資格取得者

育児・介護両方	10名
育児のみ	6名
介護のみ	2名

熱心にご受講いただきありがとうございました

Thank you

